くらしにやさしい街 … 志木、よりよい環境を未来に残すために

エコシティ志木通信

2014年6月1日
（№74・夏は川がいちばん！号）

2014
＊
6月

NPO法人エコシティ志木
代表理事　天田 眞
〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108
http://kappa-no.net/eco-shiki/

写真：天田 眞

志木につらなる川の風景（2）

柳瀬川の清瀬水再生センター放流口

都市の河川は一般に平常時の水量が減っていますが、柳瀬川の下流部では逆に増えています。それは、新座市と清瀬市の境界に接する東京都下水道局清瀬水再生センター（下水処理場）の放流水が平常時流量の６割程度を占めているからです。ここは多摩地区最大規模で９市の下水を処理しています。30～40年ほど前に最悪だった水質は改善され魚も戻ってきましたが、このところ水質改善は頭打ちです。放流水の温度は高く、冬には放流口付近では湯気が立っています。（天田 眞）

NPO 法人エコシティ志木

2013 年度の報告と 2014 年度の予定

● 2013 年度の活動報告

◆環境、施設の保全・管理及び創出事業

① 里山の手入れ：「いろは親水公園こもれびのこみち」「西原ふれあい第三公園」の２か所の斜面林の日常管理（清掃、落葉掃き、下刈、中低木の伐採・剪定等）を行いました。

② 河川敷の清掃：県の「川の国応援団」の河川清掃活動として、柳瀬川右岸志木中学校付近と新河岸川右岸富士下橋付近より下流で河川敷や水際のごみ拾いを行いました。

③ 外来植物駆除事業

(a) 川のまち志木☆水辺応援団養成講座：外来植物駆除と外来種･河川についての学習と人材発掘を目的とした連続講座(作業含む)を開催しました。

(b) 柳瀬川・外来植物駆除作戦：志木中学校生徒 100 名以上の参加で、柳瀬川右岸河川敷の大型外来植物の抜き取りを行いました。

◆調査、研究事業

① 柳瀬川・野鳥＆川の生きものウォッチング：富士見橋～栄橋及び水谷田んぼで野鳥等の調査、志木中前付近で魚類及び水生昆虫等の調査を行いました。

② 県民参加生き物モニタリング調査：埼玉県の事業に参加し、柳瀬川・新河岸川・水谷田んぼ・斜面林等で調査を行いました。

③ 身近な川の一斉調査:「新河岸川水系」と「全国」の調査に参加し、新河岸川・柳瀬川・荒川・湧水等８か所の水を調査しました。

④ 埼玉県内一斉ガンカモ調査：埼玉県生態系保護協会志木支部が行った柳瀬川での調査に協力しました。

⑤ 水塚文化研究事業

(a) 見学会：羽根倉橋上流左岸にかつて存在した荒川堤外集落の跡等を見学しました。

(b) ヨシ原景観の保全に関する調査：いろは親水公園ヨシ･オギ群落の調査でオオブタクサの繁茂とカヤネズミの生息を確認しました。

◆観察会及び学習・教育事業

① こどもとおとなの自然塾：子ども向け企画として「川の生き物を調べよう」「ドングリと落ち葉で遊ぼう」を開催しました。

② 自然観察会：大人向けの観察会として柳瀬川で「志木の自然観察会（春）」と「同（秋）」「冬の野鳥観察会」を開催しました。

③ 新河岸川ぶらり散歩：最終回として足立小台から隅田川に沿って浅草まで歩きました。

④ 小学生の環境学習への協力：小学校の総合学習やクラブで講師を務め、地域団体の柳瀬川での生き物調査に協力しました。

⑤ 講座等での講師･事例発表：講演会・大学の授業等で講師を務めました。

⑥ ボランティア･ NPO 体験者受け入れ：社会福祉協議会のボランティア体験事業で中高校生を受入れました。

⑦ 催物への出展：「いろはふれあい祭り」等に参加し、出前水族館やどんぐり･落葉工作、活動紹介展示や資料配布等を行いました。

◆出版、広報事業

① エコシティ志木通信の発行：本紙とイベントカレンダーを年４回発行しました。

② ホームページ管理：エコシティ志木及び河童のつづらのホームページで情報発信を行いました。

③ 活動紹介展示：催事で当会の活動状況の展示を行いました。

◆エコミュージアム事業：「志木まるごと博物館河童のつづら」のホームページに情報の蓄積を行いました。

◆提言事業：外来植物がはびこっている「いろは親水公園ヨシ･オギ群落保全地」について香川武文志木市長に提言しました。

● 2014 年度の主な取り組み

上記の 13 年度事業の殆どは 14 年度も継続していきます。新規事業としては、いろは親水公園内「ヨシ･オギ群落保全地」でのオオブタクサの繁茂とカヤネズミの巣の発見に伴い、継続的なオオブタクサ抜き取り作業と、親子を対象にした啓発的な企画として「カヤネズミ原っぱ環境応援作戦」を７月･10 月に計画しています。

（代表理事　天田　眞）

3月21日（金・祝日）新河岸ぶらり散歩「隅田川をぶらり浅草まで」

新河岸川舟運の最終地・浅草まで歩いた！

新河岸川の上流から最下流まで歩こうということで始まった「新河岸ぶらり散歩」も前回から「隅田川散歩」となり、今回はとうとう、かつての新河岸川舟運の最終地であった浅草・花川戸まで歩くことになりました。

前回の散歩の最終地である日暮里・舎人ライナー足立小台駅から出発。ここは荒川と隅田川が最接近している場所で、ここからあまり環境の良くない堤防沿いや町屋付近では内陸部を歩いて、千住大橋に到着。ここは隅田川に初めて橋が架けられた場所です。江戸時代は、ここから（あるいはここまでが）江戸という感じだったのでしょうか。常磐線の鉄橋を過ぎるあたりから、カミソリ堤防の隅田川側に作られた、人工的すぎではありますが快適な遊歩道が続いていきます。

汐入公園で昼食後、白髭橋、言問橋といくつもの橋を過ぎ、ソメイヨシノの花には少し早かったですが、カンザクラ？の赤い花を眺め、ユリカモメ（ミヤコドリ）の乱舞を横目にひたすら歩き、やがて対岸にスカイツリーが迫ってきました。午後3時ころ、無事、隅田川水上バス乗場に到着。「新河岸ぶらり散歩」の終点・浅草が最近本当ににぎやかになってきたことを実感できました。

（筑井信明）

4月13日(日)斜面林観察会

にしはらの森から見えてくるもの

初めての観察会に参加した。

月二回の手入れには、数回参加している。昨日も手入れがあった。昨日の今日なのに、その変化はびっくりさせられる。昨日は緑だけだった野草の群落に、今日は何と白っぽいつぼみが頭をもたげている。たった一日で。その生命力の素晴らしさに「おっ！」と思ってしまう。

偶然私の目についた白いものを見たら、そのそばにイモムシがいた。灰色で赤っぽい点々が背中にあり、ツノもある。天田さんに伺ったら「アカボシゴマダラの越冬幼虫」と言うことだった。食草はエノキ。3・4センチの小さな体で、今年のような雪ありの寒い冬が越せるのだ。つくづく生命の不思議を感じてしまう。

その他ジャコウアゲハの食草ウマノスズクサ、ジロボウエンゴサクなどの植物も教えてもらった。ただ緑の草と見えていたものが、名前を知ることにより私との距離が縮まり、緑の草の中から個々が立ちあがってくる。

「仲良くなれたなぁ」と思う。

自然は、こちらが働きかけないと決して幕が上がらない「劇場だなぁ」と思う。皆さんも是非にしはらの森に足を運んで、皆さんの自然劇場の幕を開けてください。

（竹野延枝）

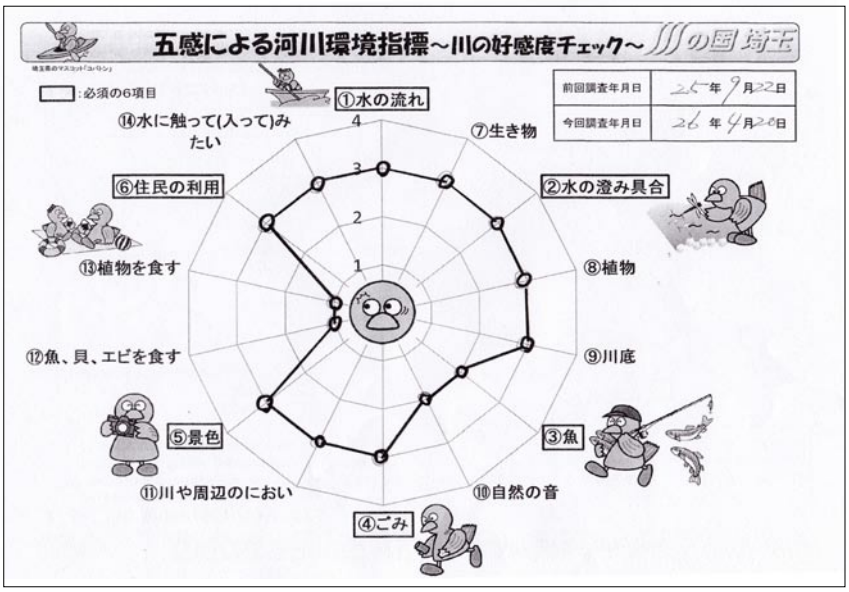
4月20日（日） 志木の自然観察会（春）

―五感で感じる川のまち志木―

毎年、志木の自然観察会は柳瀬川の富士見橋から高橋間の土手と川原を歩きながら春・秋の総合的な自然観察を続け多くを学んできました。

今年は、観察場所を柳瀬川・新河岸川の合流点（志木市役所前）の「いろは親水公園」に移し、4月20日に広く「川のまち志木」を知るという企画で実施いたしました。

ここ「いろは親水公園」は埼玉県の「水辺再生100プラン」に選ばれ、多目的な公園として整備され、今年より公園として志木市に管理が移管された場所です。ところで志木市は柳瀬川、新河岸川そして野火止用水と多くの川との接点を持っており、特に荒川は多方面で大きな存在ですが「川のまち志木」と言う名称は地域を良く表していると思います。



（図）「川の好感度チェック」の総合結果レーダーチャート（参加者18名）

さて、今回の観察は開発時のゾーン名称である①歴史・景観ゾーン ②親水・体験ゾーン ③自然共生ゾーンの3ゾーンを順にめぐりました。

①では村山快哉堂の歴史の解説と、裏手にある野鳥観察施設およびかっぱ像を見ました。つぎに②のこもれびのこみちに進みましたが、ここは武蔵野台地と荒川低地の境に位置する斜面（崖）ですが、都市と思えないようなうっそうとした木立と湧水による小川が残されております。ここの東屋において、斜面林の保全と湧水の池について、日頃行っている活動が紹介されました。

オタマジャクシを観察する参加者たち
「親水・体験ゾーン」こもれびのこみちの湧水池

つぎに富士下橋を渡り、新河岸川の左岸に出ました。この③ゾーンは自然共生ゾーンでヨシ・オギの群生地です。観察日ではヨシ・オギは芽生えから間がなくて成長が始まったばかりでした。ここでは昨年の調査でカヤネズミの巣が多数見つかったことが報告され、ヨシ・オギ群落を環境にした自然の多様性が紹介され、自然保全の大切さを学びました。その他オオヨシキリやトンボ、チョウ、カエルなど多くの多様な生物の棲息が期待されます。

この三ゾーンの観察を終えて村山快哉堂に戻り、最後の作業である五感による河川環境指標「川の好感度チェック」の記入をして本日の観察会を終えました。

上図のレーダーチャートは参加18名の総合結果ですが昨年の柳瀬川の土手に比べ、今年は市役所前の道路沿いという環境の違いも出たように思います。この場所での観察会は初めてですが、秋の観察会（9月21日）も同所で行う予定ですので自然の季節の違いを感じることができると思います。是非ご参加ください。

（加藤健二）

3月23日（日）さくらフェスティバルへの出展

パネル展示で当会の活動を紹介しました

3月23日にさくらフェスティバルが志木市役所の駐車場で行われました。

フリーマーケット、模擬店、長野県飯綱町の物産販売、志木市の特産品販売などが行われていましたが、今年は、市内で活躍するＮＰＯ法人のＰＲを行う「ＮＰＯ法人ＰＲの広場」が設けられました。市役所からは2張のテントと机が用意されました。１団体あたりおよそ90cm幅のスペースです。水槽などの展示物が多いという事で角の場所を頂きましたが、水槽展示を行わなかったため、用意した配布資料を全て机の上に並べることができました。

パネル展示で当会の活動を紹介することとしましたが、写真を張るボードが用意されないため、テントの上部からパネル写真を吊り下げることにしました。さながら「つるしびな」の様です。この方法ですと、折りたたんで鞄に入れて運べることと、ある程度風が吹いても大きなボードと異なり、風の力を逃がしやすいく、壊れたり飛ばされにくいというメリットがあり、思った通りの展示を行うことが出来ました。

会場は大勢の人で賑わい、道路を隔てた村山快哉堂からは、太鼓の音が響き、長野県飯綱町のリンゴも完売のアナウンスが流れ、大盛況のうちに終わりました。（青木明雄）

出前自然あそびのご紹介

どんぐりと落ち葉で遊んだよ

3月8日（土）の『総合福祉センターまつり（主催：志木市総合福祉センターまつり実行委員会／社会福祉法人志木市社会福祉協議会）』で教育サポートセンターブースに協力し「どんぐり・落ち葉工作」を行い、4月26日（土）の『わっか祭（主催：東上線沿線地域協議会）』と5月11日（日）の『子どもまつり（主催：志木おやこ劇場）』では例年同様「柳瀬川水族館」展示と「どんぐり・落ち葉工作」を行いました。どのお祭も晴天に恵まれ大盛況でした。

クヌギやマテバシイ等のどんぐり、トチの実、松笠、押し葉等を並べ、絵の具で自由に描いてみました。「海の色みたい」「若葉色で綺麗だね」色はどんどん生まれます。「これは？　そうかぁ、土色かぁ」「うん。土色大好き！」作品に指で一つひとつドット柄を付けたり、松笠やどんぐりを合わせ妖精やうさぎ等、皆さん思い思いに素敵な作品をこしらえました。大切な人へのプレゼントにすると教えてくれた子もいました。お相手はきっと喜んでくださったでしょうね。

5/11『子どもまつり』でのどんぐり・落ち葉工作

「去年の夏の魚捕りにも参加したよ」「総合センターの工作、楽しかったよ。また参加出来ちゃった」「今日3回目だけど良いですか？」

はい。リピーター大歓迎です。

水族館の方は館長にすっかりお任せしてしまいました。青空の下、水槽の中でアユがキラキラ輝き、スッポンがオレンジのお腹を見せ、ヌマチチブ・ドジョウ・エビやヤゴ達も元気に泳いでいました。水族館前も沢山の会話と笑顔に包まれているようでした。（大田文佳）

新河岸川流域の調節池

NPO法人エコシティ志木代表理事　天田　眞

① 朝霞調節池
左下は越流堤で旧河川があったところが大きな池に

現在の治水は、総合治水対策として河川と流域を一体として捉え、様々な手法で進められています。その一つに、川に隣接して大きな池（調節池）を設け、河川との間の堤防の一部を低くし（越流堤）、大雨のときに川の水を池に溢れさせて貯留し、川の水位が下がってから元に戻す、といった方法があります。新河岸川の流域にはこうした調節池が大小20か所ほど整備されていますが、その内、近隣のものを紹介します。

調節池は洪水対策だけでなく、湿地性の生態系が生きている場として大変貴重であり、当会で今年から取りかかろうとしている、いろは親水公園のヨシ・オギ保全地区の管理手法にも参考になります。

●朝霞調節池

新河岸川左岸、朝霞市／平成20年竣工
調節容量53万㎥、面積18.7ha

新河岸川と荒川に挟まれ、新河岸川の旧流路が蛇行していたところにあり、池、森林、竹林、ヨシ・オギ原、草原等、様々な環境要素を含んでいます。一部の上を254バイパスがまたいでいます。国による直轄管理です。

●寺尾調節池

新河岸川右岸、川越市／平成14年竣工／調節容量36万㎥、面積13ha

ふじみ野市との境界に接してあり、平成10年に川越市南東部を中心に大きな被害を出した水害（浸水家屋3827戸）を機に、河川激甚災害対策特別緊急事業でつくられました。湧水による池があり、ヤナギやヨシ・オギが茂っています。排水のために樋管の他にポンプも設置されています。

●びん沼調節池

びん沼川を利用／左岸はさいたま市、右岸上流は川越市、下流は富士見市／平成15年竣工／調節容量170万㎥、面積86万㎡

荒川の旧流路であるびん沼川をそっくり調節池として利用しています。洪水時に新河岸川の水を荒川に流す「新河岸川放水路」がびん沼調節池のほぼ中央に接続されており、これより上流側は河畔林が残る生態系を保全したエリアで、一部が川越市の「萱沼びん沼公園」として整備されています。

下流側は荒川に放流する南畑排水機場への水路として整備され、右岸の一部は調節池と一体化された富士見市の「びん沼自然公園」(5.7ha) となっ

ており、広いヨシ・オギ群落と雑木の植樹による樹林帯になっています。

●蛇島調節池

砂川堀両岸、富士見市／平成 12 年竣工／調節容量 18 万㎥

狭山丘陵の北側から流れ出す砂川堀が新河岸川に流入する直前で、254 バイパスの東側の左右両岸にそれぞれ調節池があります。蛇島とは右岸が蛇木、左岸が伊佐島の地名によります。平常時は殆ど水は無く、ヨシ・オギ群落の中にヤナギの木が点々と生えています。ゴミが多いのが残念です。

●金山調節池

柳瀬川左岸、清瀬市／平成６年竣工／調節容量 4.6 万㎥、面積 3.2ha

東所沢駅の南東、柳瀬川左岸で所沢市との境界に接しています。中央部が掘り下げられ、平常時も豊富な湧水で大きな池になっていますが、デッキ状の通路で池の上を巡ることができます。池の中にはヤナギ類や水生植物が豊富で、平成 13 年から東京都・清瀬市と連携した市民によるボランティア組織「金山調節池ワークショップ」が湿地生態系保全の管理作業や観察・調査等を行っています。

② 朝霞調節池
広大な森もあり、生物相は豊か

③ 寺尾調節池
内側から越流堤を見る。向こう側は新河岸川

④ 寺尾調節池
越流堤前の池とヤナギ類やヨシ･オギ類の群落

⑤ びん沼調節池
中央の新河岸川放水路接続部から下流側を望む

⑥ びん沼調節池
上流側は河畔林が残る、右手は萱沼びん沼公園

⑦ びん沼調節池と一体化されたびん沼自然公園のヨシ･オギ群落

⑧ 蛇島調節池
池はなくヨシ･オギ群落に小さなヤナギが点々と

⑨ 金山調節池
竣工以来時を経てすばらしい自然が再生されている

⑩ 金山調節池
広い池の上はデッキが整備され歩くことができる

4月27日（日）新河岸川水系水環境連絡会　2014年度総会

落差工の上に稚アユを放流、モニタリング計画も

4月27日に、エコシティ志木も加入している新河岸川水系水環境連絡会の総会が開催されました。

今回の総会では、事務局体制の強化と法人格取得の有無について議論されました。前者は、以前からの課題となっていますが、流域の市民団体が連携するネットワークとしては緩やかな方が長続きするという特徴もあります。後者は、法人格取得については、特別採捕許可（※）や河川協力団体指定を受けることを目指すかどうかが議論の焦点となっています。

その他トピックとして、新河岸川流域の各所にある落差工が稚アユ遡上を阻害していることが予想されるため、落差工の上に稚アユを放流し遡上範囲をモニタリングする計画がありました。今年度は、白子川（和光市）・黒目川（新座市）・柳瀬川（所沢市）で実施される予定です。

（伊藤智明）

（※）現在、埼玉県漁業調整規則第26条第10項により、一般的に売られている手網（の網目の大きさ）は使用が禁止されているため、埼玉県内で市販の手網を使う場合は、県庁の特別採捕許可を受ける必要があります。許可取得には法人格が必要となります。

生き物モニタリング調査について

水谷田んぼでの調査（5月18日）

エコシティ志木では平成20年度から、埼玉県みどり自然課の事業『県民参加生き物モニタリング調査』に参加してきました。

この調査は、県内の自然環境団体が様々な生き物を一定期間にわたって調査記録し県内の生物多様性の変化を把握すること、また、県民から提供される様々な生き物情報を共有化する仕組みを構築することを目的としています。

調査は、各団体が日頃の活動フィールドから調査対象とする地域を定め、原則月1回の調査を行い、調査対象として定められた動植物について目視等で確認し、記録するというものです。植物については生育状況や被度も記録します。

調査対象種は、動物40種、植物50種（平成25年度の場合）で、絶滅危惧種や外来種が多く、温暖化で北上してきた種も含まれています。

当会では、①柳瀬川河川敷および水谷田んぼ、②いろは親水公園こもれびのこみち及び新河岸川右岸河川敷、③西原ふれあい第三公園　の3地域について調査しました。

調査結果は、取りまとめ業務を担当した「NPO法人自然観察指導員埼玉」が報告書にまとめ、その内、調査種毎の考察と県内分布図が埼玉県のホームページで公開されています。（県民参加生き物モニタリング調査で検索）

（天田 眞）

ジャコウアゲハの分布図（埼玉県ＨＰより）

● 志木 自然インフォメーション ●

生き物情報は→　ファクス 048-471-4275　e-mail：qwj11624 @ nifty.com（毛利）へ
ホームページ「発見 !! 街の自然」http://kappa-no.net/sizen-info.html

❶ **モズがスズメを襲う**→ 3月 8日(土) 水谷田んぼに隣接のさくら記念病院の近くでモズがスズメを捕まえ、そこにムクドリが攻撃をしかけてきました［山崎光久］
❷ **エナガ**(1) →3月 9日(日) 西原ふれあい第三公園斜面林［毛利将範］
❸ **オオタカ**(1) →3月 25日(火) 柳瀬川・ビバホーム向かいあたり［毛利将範］
④ **シロハラ**(1) →4月 6日(日) 西原ふれあい第三公園斜面林［毛利将範］
❺ **オオミズアオ**(1) →4月 20日(日) 中宗岡 1丁目で発見しました［細田和子］
⑥ **ヒキガエルのオタマジャクシ**→4月 20日(日) いろは親水公園・こもれびのこみち湧水池［志木の自然観察会］
⑦ **コジュケイの鳴き声**(チョットコイ チョットコイ) → 4月 27日(日) こもれびのこみち斜面林［天田いづみ］→5月 2日(金) 西原ふれあい第三公園斜面林［天田眞］
❽ **スッポン**(幼体 1) →5月 11日(日) 柳瀬川・志木中前。体長 5cmほど［毛利将範］
❾ **アカボシゴマダラ**(春型 1) →5月 18日(日) 柳瀬川・ビバホーム脇［柳瀬川 w］
❿ **トウキョウダルマガエル**(多数) →5月 20日(火) 水谷田んぼ［毛利将範］

❶モズがスズメを（3/8）［山崎］

❷エナガ（3/9）［毛利］

❸オオタカ（3/25）［毛利］

❺オオミズアオ(4/20)［細田］

❽スッポン（5/11）［毛利］

❾アカボシゴマダラ(5/18)

❿トウキョウダルマガエル(5/20)［毛利］

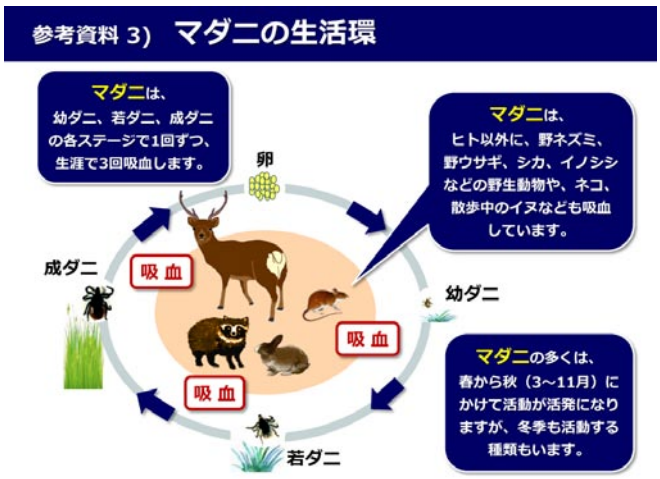
環境 ひとくちメモ（32）　伊藤 智明

「マダニ対策」

マダニは民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。マダニは、「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」などの感染症を媒介するので注意が必要です。

野外作業時は「夏場でも長袖・長ズボンを着用し、腕・足・首など、肌の露出を少なくする」、作業終了後は「上着や作業着は、家の中に持ち込まない」、「シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックをする」などを心掛けましょう。

なお、吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けるようにしましょう。また、マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けるようにしましょう。



出典：国立感染症研究所パンフレット 「マダニ対策、今できること」

☆会員状況

2014 年度更新済み（5/20 現在）
正会員（個人） 37
正会員（団体） 1
賛助会員（個人）2、（団体） 2
【寄附】
3 万円　　田中洋子さん

★本会の財政基盤は、会員の方の年会費が頼りです。
★今年度も継続更新をよろしくお願いします。

■当会の団体正会員
志木おやこ劇場
生活クラブ生協志木支部

■当会の団体賛助会員
慶應義塾志木高等学校
志木柳瀬川ロータリークラブ

■当会が参加している団体・ネットワーク・登録制度、及び協力団体
志木おやこ劇場
いろは遊学館利用者の会
志木市コミュニティ協議会
志木市社会福祉協議会
柳瀬川流域ネットワーク
新河岸川水系水環境連絡会
新河岸川流域川づくり連絡会
柳瀬川流域水循環再生市民懇談会
新河岸川広域景観づくり連絡会
彩の国南西部地域ＮＰＯ連絡会
川の国応援団
埼玉県生物多様性保全活動団体登録
彩の国みどりのサポーターズクラブ
志木市公園美化活動会
埼玉県生態系保護協会志木支部
志木のまち案内人の会
志木市放課後子ども教室りんくす
グループぽんぽこ
志木市立教育サポートセンター
市内小中学校

情報満載！
当会のホームページ

ＮＰＯ法人エコシティ志木
http://kappa-no.net/eco-shiki/

志木まるごと博物館河童のつづら
http://kappa-no.net/

2014年度 役員

代表理事	天田　眞	再任	
理　事	青木 明雄	再任	事務局長
	伊藤 智明	再任	
	加藤 健二	再任	
	筑井 信明	再任	
	毛利 将範	再任	副代表理事／広報部会長
	望月　仁	再任	
	山口 美智江	再任	副代表理事／まちづくり部会長
	山崎 光久	再任	水と緑部会長
監　事	宇津木 美恵子	再任	
	松田　勝正	再任	

2014年度 予算　（2014年4月1日～2015年3月31日）

特定非営利事業に係る事業（今年度の収益事業計画はありません）

●収入　（単位：円）

科　目	予算額	備　考
1 会費等収入	145,000	
個人会費	120,000	
団体会費	10,000	
賛助会費	15,000	
2 事業収入	171,400	
保全・管理・創出	40,000	公園美化活動報奨金
調査・研究	80,000	生き物調査費
観察会・学習・教育	50,000	講師謝金、参加費、資料代等
出版・広報	0	
エコツアー	1,400	
提言	0	
3 助成金収入	0	
行政	0	
その他	0	
4 雑収入	302,000	
寄付金等	300,000	SAVE JAPAN プロジェクト
その他	2,000	
5 収益事業より繰り入れ	0	
当期収入合計	618,400	
前期繰越金	883,808	
収入合計	1,502,208	

●支出

1 事業費	252,000	
保全・管理・創出	30,000	斜面林管理、外来種駆除等
調査・研究	30,000	生き物調査等
観察会・学習・教育	100,000	SAVE JAPAN pj、観察会等
出版・広報	60,000	エコ志木通信、展示等
エコツアー	10,000	河童のつづらHP
提言	10,000	
保険料	12,000	
2 管理費	223,000	
租税公課	0	
旅費交通費	2,000	
通信運搬費	2,000	
消耗品費	2,000	
給与手当	0	事務局分散運営費
事務局経費	180,000	総会議案書等
印刷費	2,000	
参加団体会費	20,000	
雑費	5,000	運営会議等会場費
会議費	10,000	
3 予備費	143,400	
当期支出合計	618,400	
当期収支差額	0	
次期繰越金	883,808	

志木の昆虫記19

街で出会える楽しい虫たち

天田 眞

《アブやハエの仲間》

アブとハエは同じ仲間でハエ目（双翅目）に分類されます。通常は昆虫の翅は４枚ですがハエ目は２枚で、後翅は退化し平均棍と呼ばれる小さな棒状のものになっていて、飛ぶときにバランスを取る役目をしているようです。名称にハエ・アブが付くものの他に、カ・ユスリカ・ガガンボ・ブユ等もハエ目です。アブは見かけ上ハチに似ているものが多く、よく間違われています。人の血を吸うアブ（アブ科）やブユ（ブユ科）は志木にはめったにいないと思われます。

最も身近に見かけるのは、蜜を吸いに花に集まるヒラタアブやハナアブの仲間です。多数の種がありますが、いずれも腹部が黄色と黒色の縞模様で明らかにハチに擬態しており、刺すことは全くありません。ヒラタアブの幼虫はウジムシ状でアブラムシを捕食します。ハナアブの幼虫は汚れた水の中で腐植物を食べ、細長い尾部を水上に出し呼吸します。

次によく見かけるのはムシヒキアブ科のシオヤアブやアオメアブ。がっちりした胸部に細長い腹部、足には鋭いとげが多数生えた凄味のある風貌で、コガネムシなどの昆虫をしっかりと捕らえて体液を吸います。シオヤアブの雄は腹の先に白い毛の束があり、アオメアブの複眼は緑色とオレンジ色に輝きます。

真っ黒な体のハグロケバエは４～６月頃よく見かけます。雄の複眼はとても大きく、雌は小さくなっています。

ハチに寄生バチや虫こぶをつくるタマバチがいるように、ハエにも寄生バエ（ヤドリバエ）やタマバエがいます。寄生バチとしてよく出会うコマユバチは３mm 位ですがヤドリバエは 10mm 以上と大型です。

複眼が青緑色のミスジミバエは我が家で時々見かけます。ガガンボの仲間もよく見ると翅の模様が様々で面白いですね。

赤く大きな複眼のホソヒラタアブ

ホソヒラタアブの幼虫は半透明

ホソヒラタアブの蛹は水滴型

捕食中のシオヤアブ

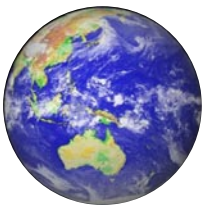
アオメアブの複眼はきれいに光る

複眼が大きいハグロケバエの雄

寄生バエのブランコヤドリバエ

ミスジミバエ

ホリカワクシヒゲガガンボ



地球と日本の自然（13）

自然年代の測定法 ― 水月湖年縞

加藤 健二

今号では、自然の年代測定でご存知の放射線同位元素に加えて、年代だけでなく多くの自然情報を得られる日本の自然から発見された福井県「水月湖の年縞」を紹介します。

炭素の放射性元素は原子量 14 です。高エネルギーの宇宙線によって炭素 14 が作られます。地球上の炭素 14 は生成と分解が同等なので、原子量 12 の通常炭素と炭素 14 の存在比を比較します。炭素 14 の半減期は 5730 年なので、もし炭素 14 が半分であれば、それは 5730 年前の試料と推定されます。この方法は生物由来の試料に限りますが、植物は光合成により炭酸ガスを吸収し、またこれを食料とする生物のスタート時点の炭素 14 は外界と同一であると考えられます。

炭素 14 の年代推定に加え、過去の地球変動を同時に見られるものを「年縞」と言います。福井県三方五湖の水月湖の湖底に見つかりました。大木の年輪のような「縞」が 7 万年分ですが湖底から見つかり、世界的研究でその年代信頼度が保証されたのです。毎年、湖水のプランクトンや落ち葉、花粉が規則正しくゆっくりと湖底に堆積し、かつ大きな川の流入が無く、風や生物による撹拌もほぼ無く、1 年ずつの規則正しい縞が確認できたものです。研究は湖底の土を筒状のパイプで採取し、各縞を顕微鏡などで調査し、規則正しく年代ごとに「縞」の乱れがないかなど、気の遠くなる研究を続け、世界から認められる「年代標準」として認められたものです。また、堆積物から植生、気温、水温や地震、洪水、火山活動など環境変化を知ることもできます。

水月湖は福井県若狭湾近郊にあり、三方五湖のもっとも大きな湖です。三方五湖の 1 湖が若狭湾に接し、五湖の水はつながっており、淡水、海水、気水と水質の異なる 5 つの湖です。水月湖は五湖の中間に位置し海水と淡水が 2 層を形成し、下部は無酸素の気水で生物による湖底の撹拌がありません。なおこの五胡は自然環境の豊富さから 2005 年ラムサール条約に登録されています。(写真は「ふくいドットコム」より掲載したもので、中央が水月湖です)

編集後記

◇今年度の定期総会では初めてプロジェクターを使用し、活動風景の映像を見ながらの審議となりました。また、総会後の懇親会でもプロジェクターが大活躍。天田代表理事の野火止用水についての講話や親睦をより楽しめました。◇年 1 回、総会だけに顔をみせる会員の方もいらっしゃいます。楽しんで頂けたでしょうか？　（梟）

エコシティ志木通信
第 74 号　2014 年 6 月 1 日
〈発行〉
NPO法人 エコシティ志木
〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108
電話/FAX　048-471-1338（天田眞）
URL　http://kappa-no.net/eco-shiki/
E-mail　eco-shiki@ff.e-mansion.com

エコシティ志木の イベントカレンダー

2014年

6月→9月

昨年の柳瀬川での「川の生き物調べ」のようす　〈写真：毛利将範〉

親子で自然を楽しみたい人
地域の環境を守りたい人
志木まるごと博物館を楽しみたい人 ……

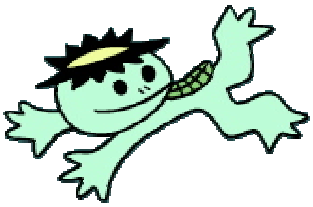
会員募集中!!

■年会費■
正 会 員　個人 **2,400円**　団体 **5,000円**
賛助会員　1口 **5,000円**

■入会方法■　郵便振替等で年会費を納入してください
〈振替番号〉**00510-4-13225**〈加入者名〉エコシティ志木

NPO法人エコシティ志木
〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108
電話／FAX 048-471-1338（天田眞）
【ホームページ】http://kappa-no.net/eco-shiki/
【E メ ー ル】eco-shiki@ff.e-mansion.com

イベント情報



●特に記載のない場合、申込不要・参加費は無料です。
●予定は変わることがあるので、事前に問いあわせてください。
●会員には毎月メール及びハガキ等で、別途行事案内をしています。

■ボランティア活動に参加しよう

◆いろは親水公園「ヨシ・オギ群落保全地」の保全作業

【日程】6 月 1 日(日)／　　8 月 3 日(日)　（雨天中止）
【時間】15 時～16 時 30 分
【集合】富士下橋左岸に 15 時集合
【内容】ヨシ・オギ群落保全地域の外来植物の抜き取りを行います。
【持物】作業できる服装（長袖・長ズボン・帽子）水筒、タオルなど
【主催】NPO 法人エコシティ志木

◆斜面林の手入れ（場所は市内の 2 か所です）

【時間】9 時 30 分～11 時 30 分　（雨天中止）
【持物】軍手、作業できる服装（長袖・長ズボン・帽子）あれば剪定用ハサミ・ノコギリ
【主催】NPO 法人エコシティ志木
【協力】埼玉県生態系保護協会志木支部／志木市都市計画課

＜西原ふれあい第 3 公園＞

【日程】6 月 7 日(土)・28 日(土)／7 月 13 日(日)・26 日(土)
　　8 月 10 日(日)・23 日(土)／9 月 14 日(日)・27 日(土)
【集合】9 時 30 分に東上線側入り口の坂を登ったところ
【内容】西原ふれあい第 3 公園の清掃・下草刈り・保全等の作業を行います。

＜いろは親水公園＞

【日程】6 月 22 日(日)／7 月 21 日(月・祝)／8 月 24 日(日)／9 月 28 日(日)
【時間】いずれも 9 時 30 分～11 時 30 分（雨天中止）
【集合】9 時 30 分にいろは親水公園「こもれびのこみち」あずま屋
【内容】「こもれびのこみち」斜面林および新河岸川河川敷で、
　　ごみ拾い・下草刈り・外来植物の抜き取り等の作業を行います。

◆柳瀬川・外来植物駆除作戦

【日程】6 月 27 日(金)14 時～15 時 30 分（小雨決行）
【内容】志木中学校生徒ボランティアとの協働により、柳瀬川右岸に於いて
　　主にオオブタクサ（要注意外来生物）とアレチウリ（特定外来生物）の除去作業を行います。
【持物】軍手、作業できる服装（長袖・長ズボン・帽子）、水筒、タオル
【主催】NPO 法人エコシティ志木
【協力】埼玉県生態系保護協会志木支部

■調べてみよう

◆身近な川の一斉水質調査

【日時】 6 月 8 日(日)　9 時～12 時 30 分（小雨決行）
【集合】 9 時に志木市役所駐車場（志木市中宗岡 1-1-1）
【内容】市内 8 ヶ所の水を採取し、パックテスト等で水質を測定します。

新河岸川水系約２５０ヵ所、全国約５，０００ヵ所と連携した調査です。
【主催】NPO 法人エコシティ志木
新河岸川水系水環境連絡会、全国水環境マップ実行委員会
【費用】無料

◆柳瀬川生き物ウォッチング＜原則毎月第三日曜日＞

【日程】6 月 15 日(日)／7 月 20 日(日)／8 月 17 日(日)／9 月 15 日(月・祝)
【時間】いずれも 9 時～12 時（雨天中止）
【集合】９時に「富士見橋」右岸の花壇がある所

【内容】※最初に河原のゴミ拾いをします。
柳瀬川と水谷田んぼ約 4km を歩き、動物・植物の調査を行います。
＜持物＞双眼鏡、あれば図鑑
【費用】200 円／家族（会員・中学生以下は無料）
【主催】NPO 法人エコシティ志木／埼玉県生態系保護協会志木支部

■自然と文化を楽しもう

◆カヤネズミ原っぱ環境応援作戦「カヤネズミの巣をさがせ！」

【日時】7 月 6 日（日）9 時～12 時
【集合】いろは親水公園左岸・富士下橋の下
【内容】日本一小さい野ネズミがすむ草原で自然を楽しみます
【対象】小学生以上（小学生は保護者同伴）
【持物】水筒、筆記用具、デジタルカメラ又は携帯電話
【費用】無料
【申込】6 月 30 日(月)までに、さいたまＮＰＯセンター 048-811-1666（新井）へ（先着 50 名）
【主催】NPO 法人エコシティ志木／認定 NPO 法人さいたま NPO センター／認定 NPO 法人日本 NPO センター
【協賛】損保ジャパン／日本興亜損保　【後援】埼玉県／志木市／志木市教育委員会
【問合】さいたまＮＰＯセンター 048-811-1666（新井）

◆柳瀬川であそぼう

【日時】７月２７日（日）９時～11 時 30 分（雨天中止）
【集合】９時に志木中学校前の柳瀬川・土手（志木市柏町 3-2-2）
【持物】暑いので帽子・水筒、川に入れる運動靴
（長靴・サンダルはダメ）道具はお貸しします。
【内容】笹舟を作って川に流したり、川を渡ったりします。
また川の魚捕りと虫捕りを行います。
【対象】小学生は志木市在住で定員 20 名
（小学 1 年生～3 年生は親子で参加下さい。）
※中学生以上は申し込みがなくても参加できます。
【費用】200 円／家族（会員・中学生以下は無料）
【申込】小学生はハガキに①児童氏名②学校名・学年③保護者氏名④住所⑤電話番号を記入の上、
7 月 15 日（火）までに（当日消印有効）志木市立教育サポートセンター
（〒353-0001 志木市上宗岡 1-5-1 TEL 048-471-2211）へお申込み下さい。
申込多数の場合は抽選を行います。
【主催】NPO 法人エコシティ志木／埼玉県生態系保護協会志木支部
【後援】志木市教育委員会

活動記録（2014年２月～５月）

◆２月◆
22日（土）西原ふれあい第三公園定例作業
23日（日）いろは親水公園こもれびのこみち定例作業
24日（月）志木小クラブ発表・感謝集会
25日（火）エコシティ志木通信印刷発送作業
26日（水）コミュニティ協議会地域活性化委員会
◆３月◆
４日（火）SAVE JAPAN プロジェクト打合せ
８日（土）総合福祉センターまつり参加
９日（日）西原ふれあい第三公園定例作業
11日（火）エコシティ志木定例運営会議
16日（日）柳瀬川野鳥・川の生き物ウォッチング
19日（水）湧水の保全・復活研究会（県水環境課）
21日（金）新河岸川ぶらり散歩（足立小台～浅草）
22日（土）西原ふれあい第三公園定例作業
23日（日）志木市内ＮＰＯ法人ＰＲの広場
25日（火）SAVE JAPAN プロジェクト打合せ
25日（火）エコシティ志木臨時運営会議
29日（土）エコシティ志木臨時運営会議
30日（日）いろは親水公園こもれびのこみち定例作業
◆４月◆
６日（日）いろは親水公園ヨシ・オギ保全地巡回点検
８日（火）エコシティ志木定例運営会議
12日（土）西原ふれあい第三公園定例作業
13日（日）西原ふれあい第三公園観察会
15日（火）エコシティ志木広報部会
17日（木）エコシティ志木会計監査
19日（土）柳瀬川野鳥・川の生き物ウォッチング
20日（日）志木の自然観察会（春）いろは親水公園
20日（日）エコシティ志木 2014年度第１回理事会
23日（水）コミュニティ協議会地域活性化委員会
24日（木）新河岸川広域景観づくり連絡会全体会
24日（木）放課後子ども教室りんくす 西原第三公園お散歩
26日（土）わっかまつり参加（東上線沿線地域協議会）
27日（日）いろは親水公園こもれびのこみち定例作業
27日（日）新河岸川水系水環境連絡会総会
29日（火）西原ふれあい第三公園定例作業
30日（水）エコシティ志木総会議案書印刷発送作業
◆５月◆
４日（日）SAVE JAPAN プロジェクト打合せ
４日（日）いろは親水公園ヨシ・オギ保全地　外来種駆除
８日（木）放課後子ども教室りんくす ヨモギ摘みお散歩
10日（土）西原ふれあい第三公園定例作業
11日（日）こどもまつり参加（志木おやこ劇場）
12日（月）朝霞県土整備事務所・市民団体懇談会
13日（火）SAVE JAPAN プロジェクト打合せ
14日（水）コミュニティ協議会理事会
16日（金）SAVE JAPAN プロジェクト打合せ
18日（日）柳瀬川生き物ウォッチング
18日（日）生き物モニタリング調査説明会（県みどり自然課）
18日（日）エコシティ志木第12回定期総会
19日（月）志木小学校こどもエコクラブ
20日（火）エコシティ志木定例運営会議

NPO法人 エコシティ志木

柳瀬川生き物ウォッチング

毎月第３日曜日に行ってきた「柳瀬川・野鳥＆川の生き物ウォッチング」に替り、５月からは「柳瀬川生き物ウォッチング」が始まりました。

内容は柳瀬川と水谷田んぼの約4kmを歩き、動物・植物の調査を行うものです。動物は出現する種類と個体数を記録し、植物はあらかじめ定めた種について成長段階と拡がりを記録します。

〈都市の中の貴重な水田。いっしょに歩いてみませんか〉

５月18日（日）に１回目のウォッチングを行いました。これまで通り、先ずは、川原のゴミ拾いを行ってから、右岸の土手を下流に歩いていきました。志木中学校から市役所までの柳瀬川の土手は、川の野鳥を間近に見る事ができる貴重なスポットです。１月には、カワセミをじっくりと見る事ができました。今回も、カワセミ・キジ・オオヨシキリ・ヒバリなどを見る事ができました。野鳥だけではなく動植物の観察という事で、これまで気が付かなかった生き物もしっかり見ていく楽しみが増えました。みなさんも一度参加してみませんか！　（青木明雄）

みなさんの参加をお待ちしています！